

リッキサン[®] 注10mg/mL 投与方法A

ネフローゼ症候群において、小児(15歳未満)に対する投与方法Aを用いた国内臨床試験は実施されていません。そのため、小児のネフローゼ症候群に投与する場合は投与方法Bによる投与をご考慮ください。

初回投与時

投与速度	50mg/時	100mg/時	150mg/時	200mg/時	250mg/時	300mg/時	350mg/時	400mg/時	
投与時間	0	30	60	90	120	150	180	210	240 (分)
累積投与量		25	75	150	250	375	525	700	900 (mg)

- ① 投与30分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等を前投与
- ② 最初の30分を**50mg/時**の注入速度で開始
- ③ 患者の状態を観察しながら、**30分毎に50mg/時**ずつ、**最大400mg/時**まで上げることができる

※難治性のネフローゼ症候群(頻回再発型あるいはステロイド依存性を示す場合)の患者に使用する場合は、1回あたりの最大投与量は500mgまでとなります。

2回目以降の投与時*

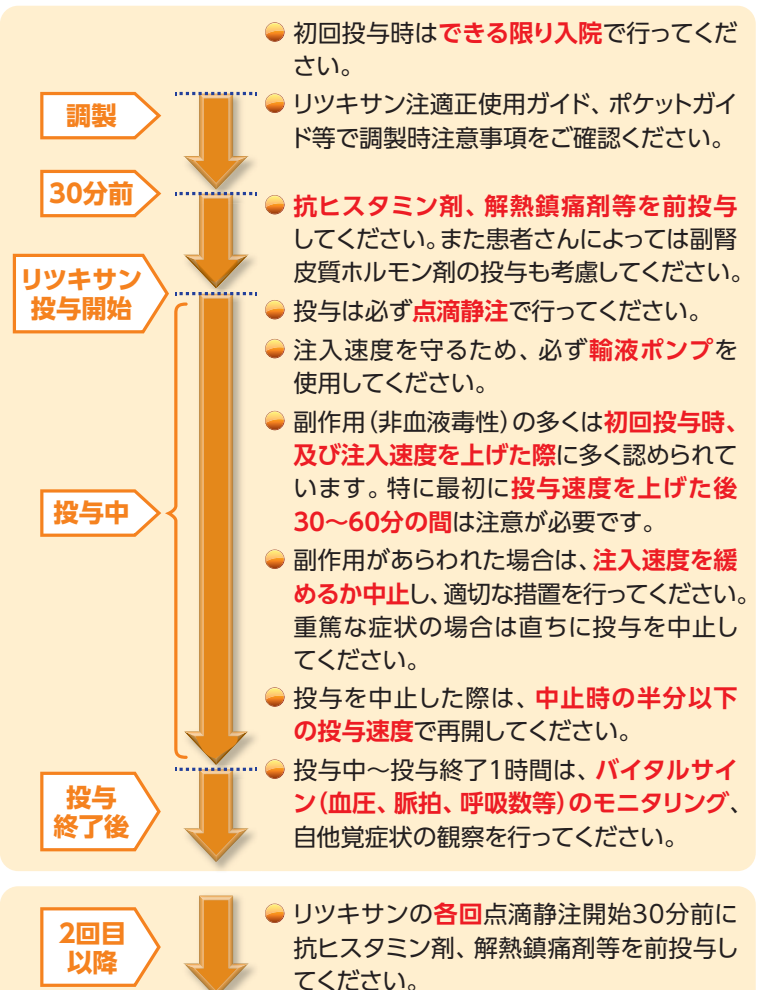
投与速度	100mg/時	200mg/時	300mg/時	400mg/時			
投与時間	0	30	60	90	120	150	180 (分)
累積投与量		50	150	300	500	700	900 (mg)

- ① 投与30分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等を前投与
- ② 最初の30分を**100mg/時**の注入速度で開始
- ③ 患者の状態を観察しながら、**30分毎に100mg/時**ずつ上げることができる(**最大400mg/時**まで可)

※難治性のネフローゼ症候群(頻回再発型あるいはステロイド依存性を示す場合)の患者に使用する場合は、1回あたりの最大投与量は500mgまでとなります。

投与方法Bについては裏面をご覧ください。

リッキサン投与時の注意事項



*: 初回投与時の副作用が軽微であった場合

リッキサ[®] 注10mg/mL 投与方法B

ネフローゼ症候群において、小児(15歳未満)に対する投与方法Aを用いた国内臨床試験は実施されていません。そのため、小児のネフローゼ症候群に投与する場合は投与方法Bによる投与をご考慮ください。

初回投与時

投与速度	25mg/時		100mg/時		200mg/時	
投与時間	0	60	120	180	240	300 (分)
累積投与量		25	125	325	525	725 (mg)

- ① 投与30分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等を前投与
- ② 最初の1時間を**25mg/時**の注入速度で開始
- ③ 患者の状態を観察しながら、次の1時間は**100mg/時**、その後**200mg/時**まで上げることができる

※難治性のネフローゼ症候群(頻回再発型あるいはステロイド依存性を示す場合)の患者に使用する場合は、1回あたりの最大投与量は500mgまでとなります。

2回目以降の投与時*

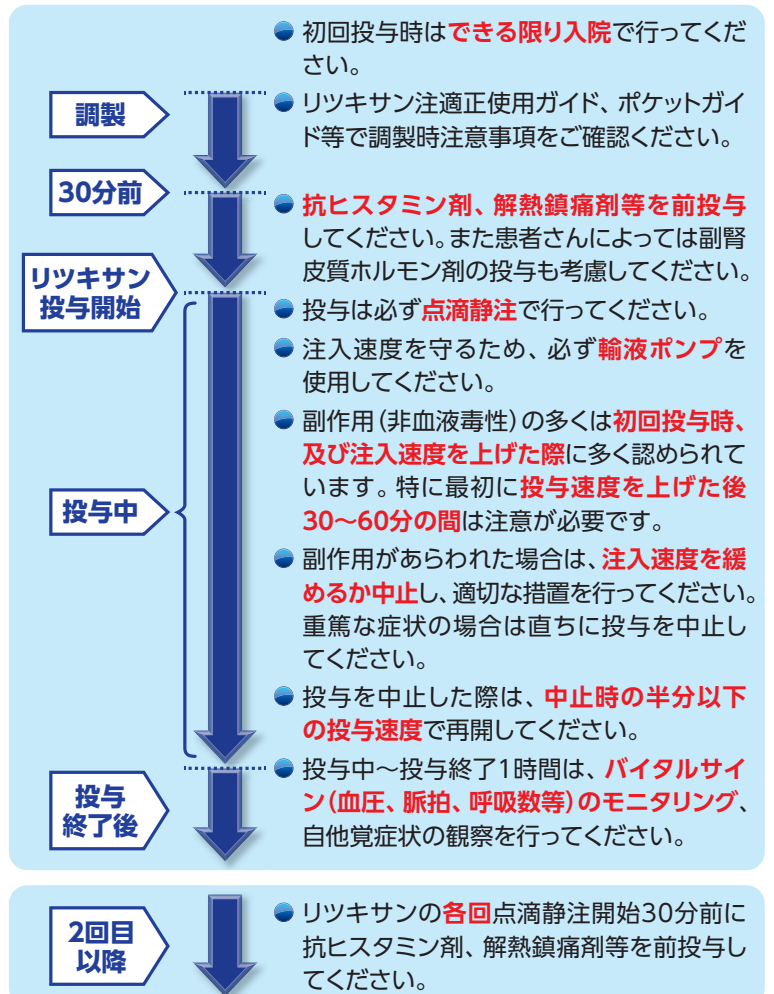
投与速度	100mg/時		200mg/時			
投与時間	0	60	120	180	240	300 (分)
累積投与量		100	300	500	700	900 (mg)

- ① 投与30分前に抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等を前投与
- ② 最初の1時間を**100mg/時**の注入速度で開始
- ③ 患者の状態を観察しながら、次の1時間は**200mg/時**まで上げることができる

※難治性のネフローゼ症候群(頻回再発型あるいはステロイド依存性を示す場合)の患者に使用する場合は、1回あたりの最大投与量は500mgまでとなります。

投与方法Aについては裏面をご覧ください。

リッキサ投与時の注意事項



*: 初回投与時の副作用が軽微であった場合